

## 生ごみ処理容器等利用状況アンケート集計結果

### 【調査目的】

生ごみ処理容器等を購入された方々に対して、効果等を確認する。

結果をもとに、町民の皆さまに対して、生ごみ減量化及び生ごみ処理容器等の推進・啓発を図る。

現在の使用状況等を調査することで、実際生ごみ処理容器等を使用した経験からご意見をいただき、生ごみ処理容器等の啓発につなげる。

### 【調査対象・人数】

令和6年4月1日から9月30日までに生ごみ処理容器等購入費補助金の申請をし、町から補助金の交付を受けた者 16名

### 【調査方法】

郵送による配布・町ホームページの回答フォームで回答回収

### 【調査期間】

令和7年1月21日 ～ 令和7年2月 5日

### 【回答者数】

10名（回収率 62.5%）

## 設問1

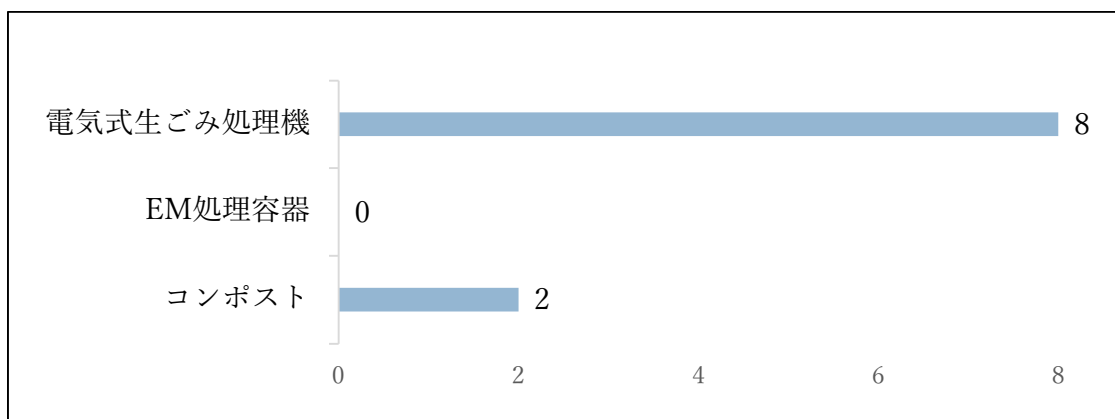
誰でも閲覧のできる回答フォームでアンケートを行ったため、対象者の判断方法として、合言葉を設定しました。

## 設問2

購入した（補助金の申請をした）生ごみ処理容器等の形態を教えてください。

① コンポスト    ② EM 処理容器    ③ 電気式生ごみ処理機

### 【結果】



総回答数：10

【対象者内訳】 コンポスト 3名 電気式生ごみ処理機 13名

コンポスト購入回答者の66%、電気式生ごみ処理機購入回答者の62%がアンケートに回答しました。

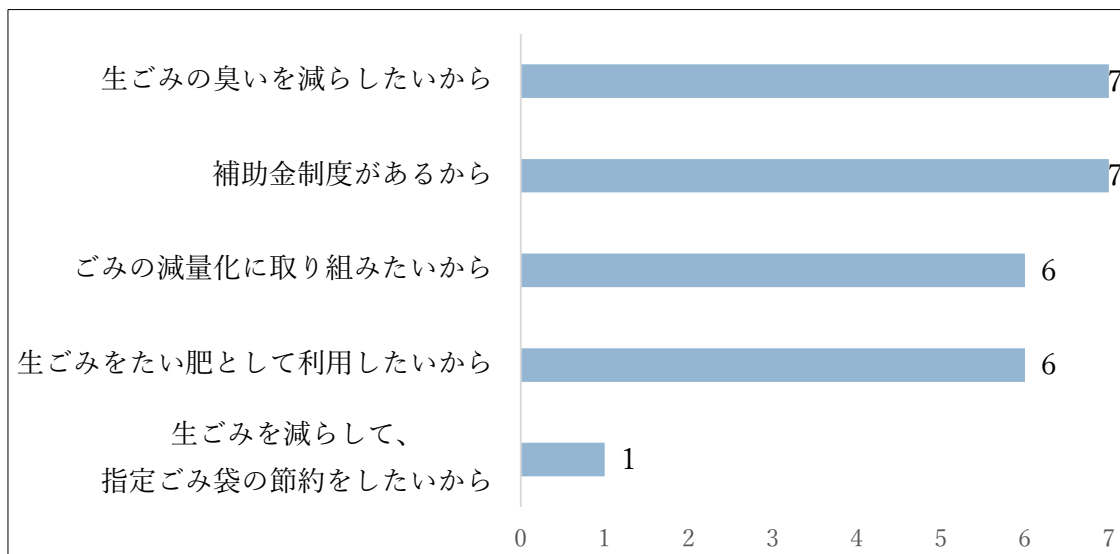
### 設問3

生ごみ処理容器等を購入しようと思った理由を教えてください。

(複数回答可)

- ① 生ごみの臭いを減らしたいから
- ② ごみの減量化に取り組みたいから
- ③ 生ごみを減らして、指定ごみ袋の節約をしたいから
- ④ 生ごみをたい肥として利用したいから
- ⑤ 補助金制度があるから

#### 【結果】



総回答数：27

回答者の70%が「生ごみの臭いを減らしたいから」「補助金制度があるから」と回答しました。また、回答者の60%が「ごみの減量化に取り組みたいから」「生ごみをたい肥として利用したいから」と回答しました。

利用形態別にみると、コンポスト利用の回答者の100%が「生ごみをたい肥として利用したいから」と回答しました。

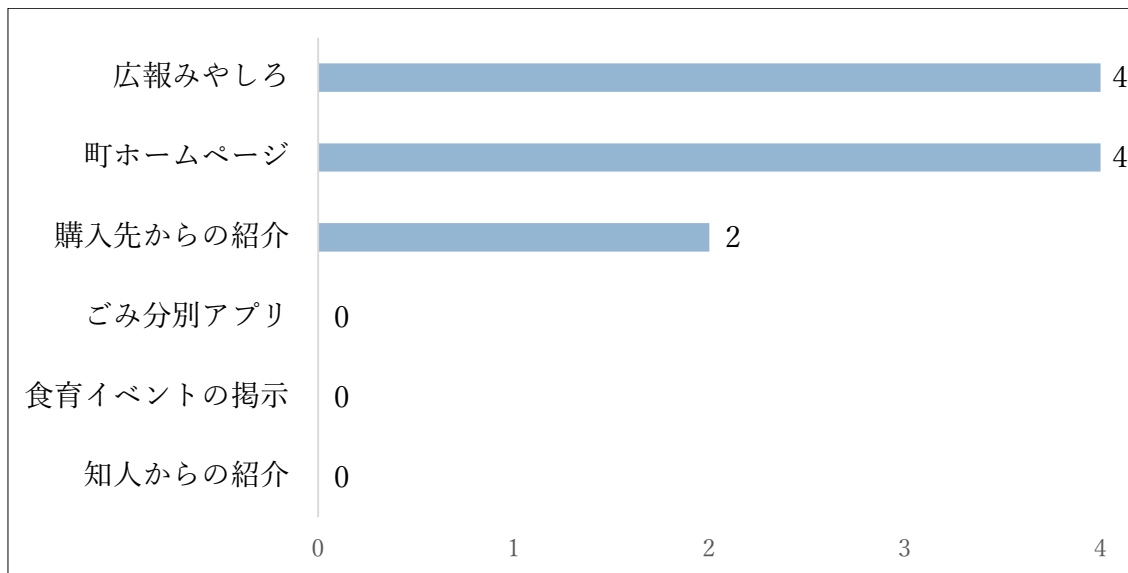
電気式生ごみ処理機利用の回答者の87%が「生ごみの臭いを減らしたいから」「補助金制度があるから」と回答しました。

#### 設問4

生ごみ処理容器等の補助金を知ったきっかけを教えてください。

- ① 広報みやしろ ② 町ホームページ ③ ごみ分別アプリ  
④ 食育イベントの掲示 ⑤ 知人からの紹介 ⑥ 購入先からの紹介

#### 【結果】



総回答数：10

補助金を知ったきっかけとして、回答者のそれぞれ40%が「広報みやしろ」「町ホームページ」と回答し、20%は「購入先からの紹介」と回答しました。

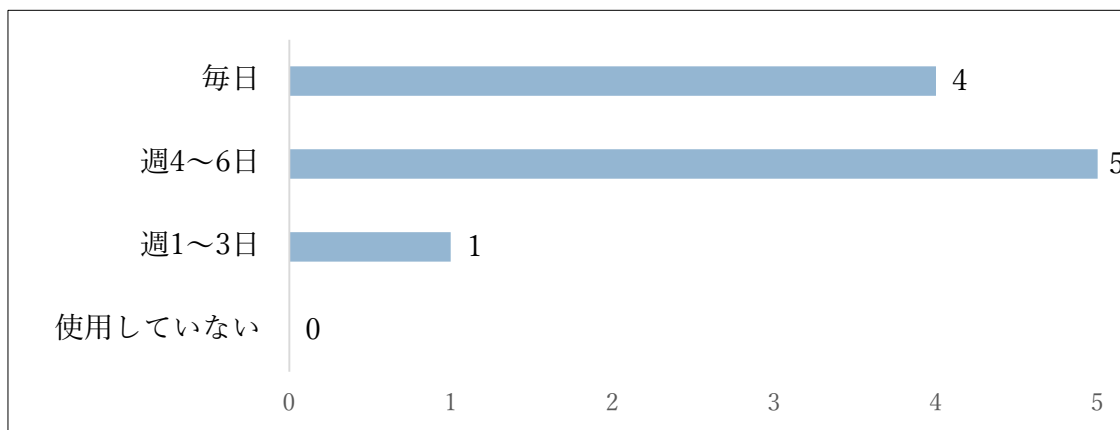
生ごみ処理容器等購入費補助金の啓発として、広報みやしろや町ホームページの活用に効果があることが分かります。

### 設問 5

使用頻度を教えてください。

- ① 毎日    ② 週4～6回    ③ 週1～3回    ④ 使用していない

【結果】



総回答数：10

使用頻度は、回答者の50%が「週4～6日」と回答しました。

回答者の90%が週4日以上使用していることがわかります。

生ごみ処理容器等を「使用していない」という回答はありませんでした。

回答者全員が生ごみ処理容器等を継続して使用していることがわかります。

### 設問 6（設問 5 で ④使用していない を選択した方）

どうして使用をしていないか、理由を教えてください。

（複数回答可）

- ① 機械の故障    ② 電気代がかかる    ③ 音がうるさい  
④ 臭いが気になる    ⑤ 処理機へ投入するための手間がかかる  
⑥ 思っていたより効果が実感できない    ⑦ 置き場所に困る  
⑧ 維持費がかかる    ⑨ 処理に時間がかかる    ⑩ 虫が発生する

【結果】

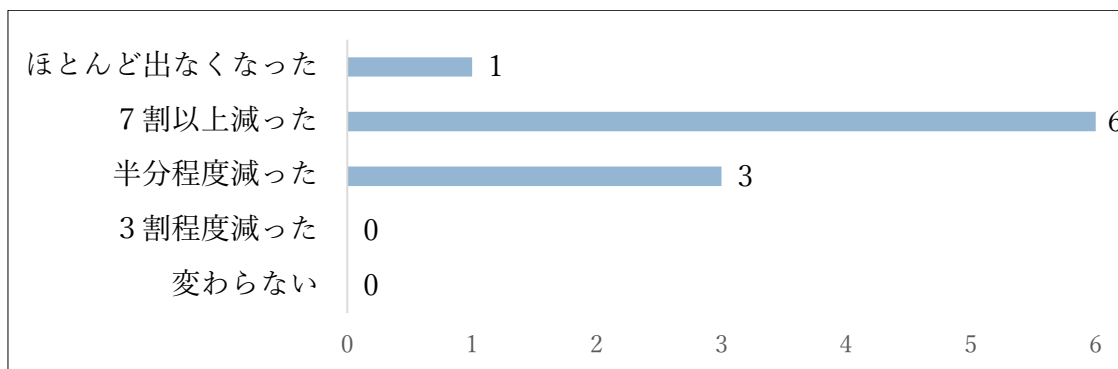
設問 5 で ④使用していない を選択した人はいなかったため、回答はありませんでした。

### 設問7

生ごみの量はどのように変化しましたか教えてください。

- ① ほとんど出なくなった    ② 7割以上減った    ③ 半分程度減った  
④ 3割程度減った    ⑤ 変わらない

#### 【結果】

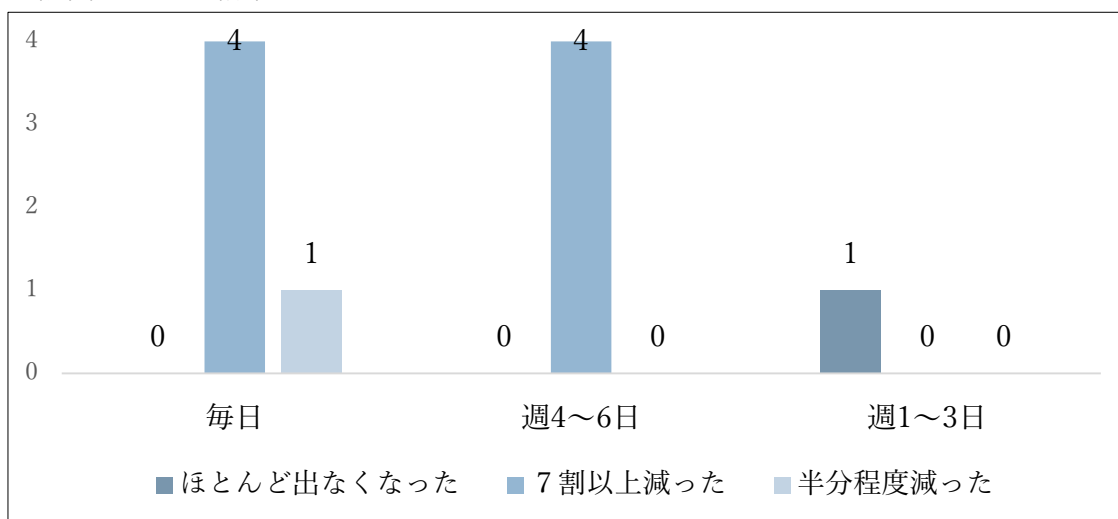


総回答数：10

回答者の60%が「7割以上減った」と回答しました。

設問7の結果から、回答者全員が生ごみを半分以上減量できていることがわかります。

#### 設問5・7の結果から



グラフ右側、週1~3日の使用で「ほとんど出なくなった」と回答したのは、コンポスト利用の回答者でした。

このグラフから、生ごみ処理容器等を週4日以上使用すると、多くの場合7割以上の生ごみを減量することができるとわかります。

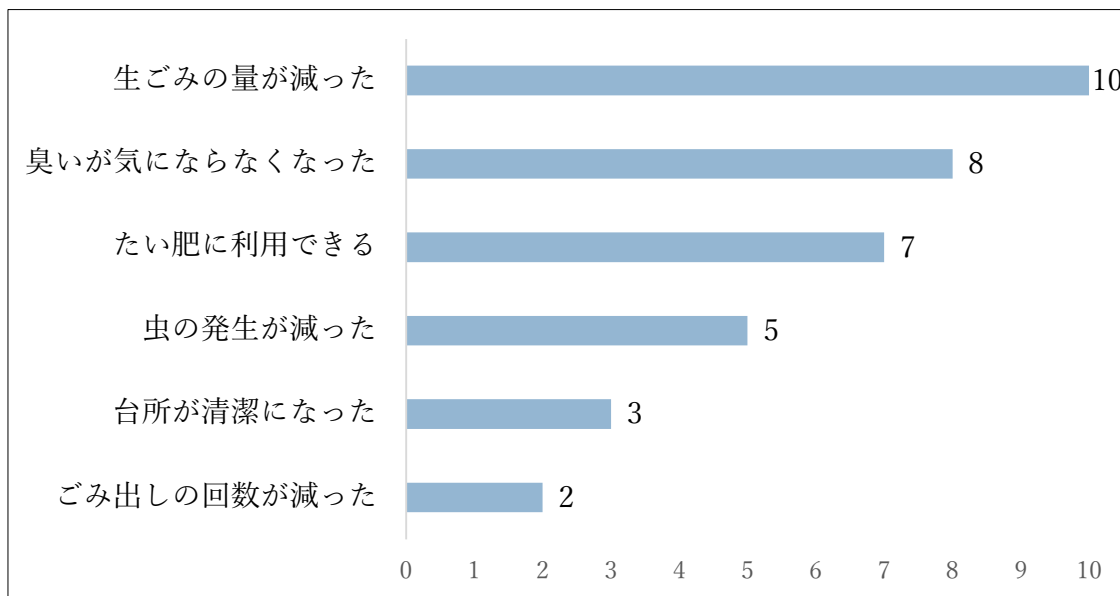
設問 8

生ごみ処理容器等を使用してよかった点（メリット）を教えてください。

（複数回答可）

- ① 生ごみの量が減った    ② 臭いが気にならなくなった    ③ たい肥に利用できる  
④ 台所が清潔になった    ⑤ ごみ出しの回数が減った  
⑥ 虫の発生が減った    ⑦ その他

【結果】



総回答数：35

回答者全員が、「生ごみの量が減った」ことがメリットだと回答しています。

続いて、「臭いが気にならなくなった」「たい肥に利用できる」との回答が多くありました。

回答者数10人に対して、総回答数は35だったことから、平均一人当たり3つ以上のメリットを回答しています。

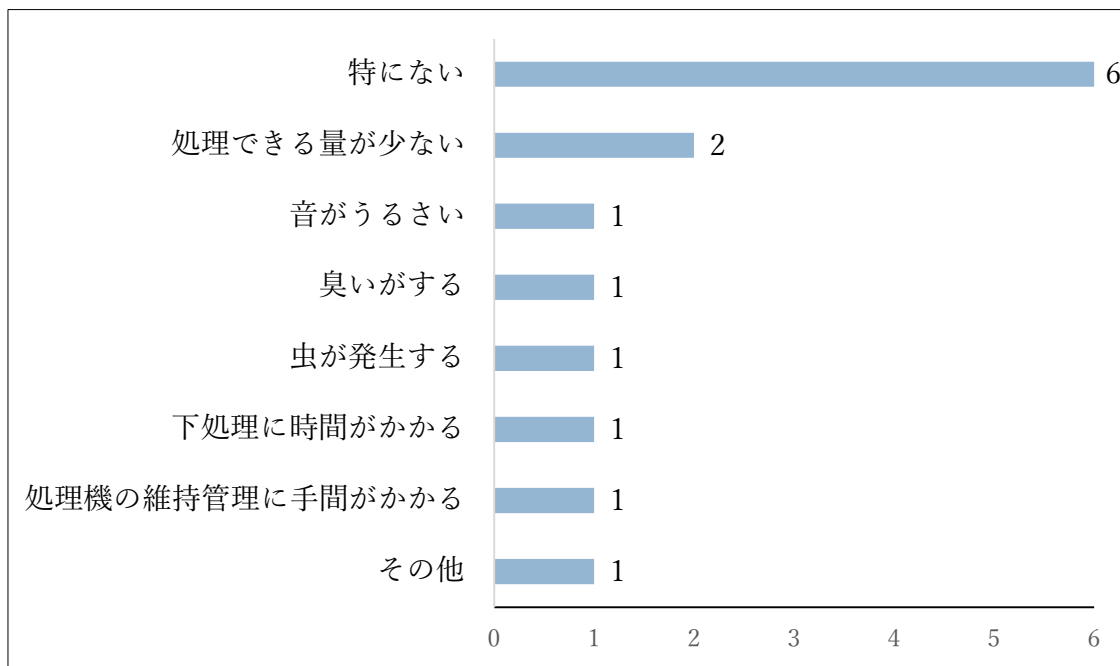
設問10

生ごみ処理容器等を使用してみて気になる点があれば教えてください。

(複数回答可)

- ① 電気代が高い    ② 音がうるさい    ③ 臭いがする
- ④ 虫が発生する    ⑤ 処理できる量が少ない    ⑥ 下処理に時間がかかる
- ⑦ 処理機の維持管理に手間がかかる    ⑧ 特にない    ⑨ その他

【結果】



総回答数：14

回答者の60%が気になる点は「特にない」と回答しました。

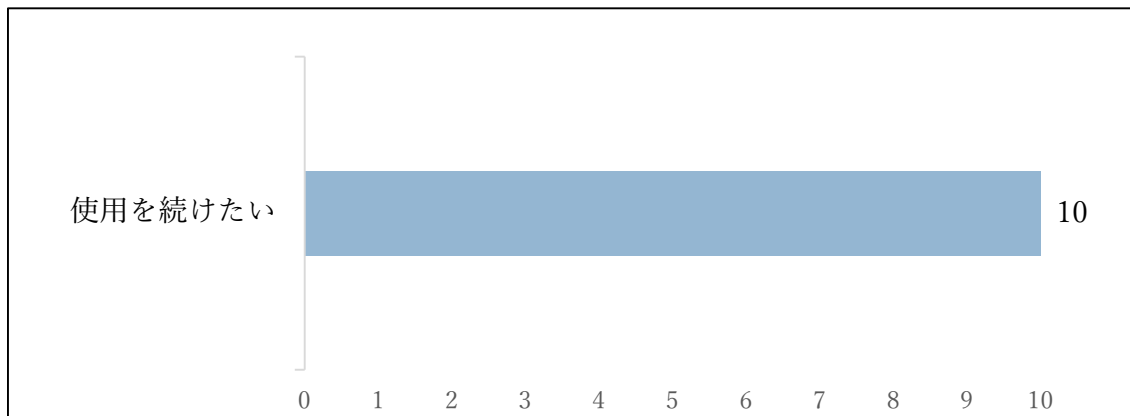
また、その他では、「熱を発するので置き場所の周りの温度が上がってしまう。食品のちょっと置きスペースの近くに設置したので夏場は気をつけている。」という声や、コンポスト利用の回答者からは「たい肥になるまで日にちがかかる」という意見がありました。

設問1 2

生ごみ処理容器等の使用を続けたいと思うか教えてください。

- ① 使用を続けたい    ② やめようと考えている    ③ すでにやめている

【結果】



総回答数：10

回答者全員が「使用を続けたい」と回答しました。

気になる点では、6名が「特になし」、4名はそれぞれの気になる点を回答していましたが、「使用をやめよう」と考えている人はいませんでした。

設問1 3（任意）

生ごみ処理容器等の購入を検討されている町民の方に対して一言お聞かせください。  
(任意回答)

【結果】

- ・補助金の制度があることを、あらゆる手段や機会を通じて、もっと広報すべきである。
- ・全額負担は躊躇していましたが、実質半額で購入できて生ごみがパリパリになってカサが減っているのを見たらもっと早く購入すればよかったと思いました。
- ・生ごみ処理の機械が高いのと、フィルター交換が必要なのでコストがかかります。
- ・メリット、デメリットがあります。
- ・畑や場所がないと使えない。(コンポスト)

設問14（任意）

その他生ごみ処理容器等について、ご意見・ご感想等がありましたらお聞かせください。（任意回答）

【結果】

- ・生ごみ処理容器を外に設置したいが、電源や降雨時に対応できる場所がなく、かつ外に設置できる仕様となっていないため、止むなく屋内に設置している。
- ・ランニングコストがかかります。
- ・たい肥にしたいと思い始めましたが、たい肥になるまで時間がかかります。
- ・生ごみの臭いがなくなったのはとてもよかったです。
- ・追加を購入したい。（コンポスト）

設問15（任意）

生ごみ処理容器等の利用のほかに、ごみの減量化についてあなたが取り組んでいることがありましたら、お聞かせください。（任意回答）

【結果】

- ・食品ロスをなくすため、食品は必要最低限の量だけ買うように心がけている。
- ・ごみの減量化は課題です。生ごみのほか、プラスチックをどう少なくするか、とても難しいです。
- ・野菜の皮は剥かずにこするスポンジがあるので、それを使ってごみを減らしています。
- ・オーガニックの野菜を買って、洗うだけでごみを出さずに食べます。
- ・畑で小枝や落ち葉などを燃やしてたい肥にしたいが、宮代町ではそれらの野焼きが禁止されている。農ある町なので申請すれば許可になるようになれば良いと思う。

食品ロスをなくすため取り組んでいることについて、多く回答がありました。生ごみ処理容器等を利用するほか、さまざまな食品ロス対策に取り組んでいただいていることがわかりました。